

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

広島県地域セミナー 報告書

2019（令和元）年7月26日（金）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」広島県地域セミナーが開催されました。当日は、今年度の推進校の先生方を中心に46名に参加いただき、下記の要領で行われました。

【開催概要】

日時：2019（令和元）年7月26日（金）9時30分～12時30分

会場：広島県立総合体育館 中会議室

主催：広島県教育委員会事務局、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：46名

プログラム：

9:30～9:40 開会挨拶

広島県教育委員会事務局 教育部 豊かな心育成課 学校体育係

係長 光橋 健 氏

9:40～10:00 事業説明 令和元年度広島県オリンピック・パラリンピック教育推進事業について

広島県教育委員会事務局 教育部 豊かな心育成課 学校体育係

指導主事 古井 友樹 氏

10:00～10:40 オリンピック・パラリンピック教育について

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

副センター長 深見 英一郎 氏

研究員 岡田 悠佑 氏

10:40～10:55 休憩

10:55～11:45 オリンピアン・パラリンピアン等スポーツ選手を講師とした

出張授業等の内容の充実について

広島県教育委員会事務局 教育部

指導主事 古井 友樹 氏

11:45～12:25 講演 「自分の障害を力に～東京パラリンピックを目指して～」

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 白砂 匠庸 氏

（パラ陸上競技 F46 クラス砲丸投げ 日本記録保持者）

12:25～12:35 質疑応答

12:35～12:40 閉会挨拶

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

副センター長 深見 英一郎 氏

開会行事では、広島県教育委員会の光橋氏より挨拶がありました。広島県では、東京大会を約1年前に控えて、本事業を通してスポーツの価値に対する認識を高めていきたい等の抱負をお話いただきました。

次に、広島県教育委員会の古井氏より、広島県の事業概要について説明がありました。各推進校で担当者を設置すること、各推進校でオリ・パラ教育のテーマを設定すること、広島県ゆかりのアスリートを派遣すること、アスリートの講演において質問の時間を大切にするなど実践の方向性を示されました。

さらに、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センターの深見副センター長と岡田研究員より、推進校の先生方への挨拶と事業概要の説明がありました。岡田研究員からは、事業概要や実践事例の紹介が行われました。また、WOWOW と IPC が共同で作成したパラリンピック教育用映像資料「WHO I AM」の鑑賞も行われました。



光橋氏の挨拶



古井氏の説明



深見副センター長の講義

休憩の後、推進校の先生方に「質問づくり」の実践を体験していただきました。「質問づくり」とは、アスリートを招聘して講演を行う際に、どのような質問をしたらアスリートによる講演を通して学習してほしいことが児童・生徒に伝わるか、を考える取り組みです。今回は、広島県出身の白砂氏（パラ陸上：砲丸投げ）の講演を通してパラリンピックの4つの価値（勇気、公平、強い意志、インスピレーション）を学習するための「質問づくり」を行いました。推進校の先生方には、まずパラリンピアンの講演をイメージして質問したいことをできるだけ多く書き出してもらいました。そのうえで、隣の席の先生（異校種）とどのような質問を考えたか、それぞれの質問がパラリンピックの4つの価値につながるか等について討議を行っていただきました。そして、最後に自分で考えた質問の中で良いと思う質問を3つ選んでいただきました。このような「質問づくり」を行ったうえで、白砂氏による講演が行われました。白砂氏は、小さいときに農具に腕を挟まれたという受傷の経緯や砲丸投げの競技に出会うまで、そしてパラリンピック出場にかかる想い等についてお話されました。先生方は、自ら作成した質問をもとに熱心に白砂氏の講演を聴いている様子でした。また、講演後には、自ら作成した質問を白砂氏に投げかける様子も見られました。



「質問づくり」のグループワーク



白砂氏の講演